



安全・安心の
追求

設備の安全対策や作業者の安全確保を徹底し、 安全・安心を最優先した事業活動を行います

お客さまや地域の皆さまの安全を確保するため、
感電事故の発生防止対策に取り組んでいます。

■電力設備への接触防止対策

- ▶ 鉄塔の昇塔防止や発電所・変電所への侵入防止
昇塔防止装置や外柵、注意喚起標識を設置
- ▶ クレーン車等の重機や釣竿などの送電線への接触防止
河川横断部などに注意喚起標識を設置



昇塔防止装置



注意喚起標識

■電力設備工事における 安全対策

- ▶ 道路周辺での工事
落下物による公衆災害等を防止するネットの設置
- ▶ 電線工事
作業者の接触による感電等の注意喚起・防止のためのシート等の取付



落下防止ネット

■ご家庭での電気の安全な使い方の注意喚起

- ▶ 電気のお役立ち情報をご紹介する
「電気知っ得本」やホームページでお知らせ

[電気知っ得本]



「電気知っ得本」は
こちら▶



[当社ホームページ(安全な電気の使い方)]

1つのコンセントやテーブルタップで同時に使用できる電流の容量（アンペア）は決まっています。これを定格電流といいます。

■ タコ足配線にしていませんか？
通常1つのコンセントの定格容量は15アンペアです。タコ足配線をすると、定格容量を超えて発熱して発火する危険が高くなります。

■ コンセント・テーブルタップの容量を超えていませんか？
差込口の数以内の電気機器しか使っていなくても、定格容量を超える場合もあります。
(例) 1,500Wのテーブルタップ
電気ポット (700W)
オーブントースター (1,200W) を同時に使うと、定格を超えてしまい危険です。
使用する電気機器の電流値を確認して、容量を超えないようにしましょう。

「15-125V」の意味は、
・15A 使用する家電機器の電流値を合計して15アンペア以下で使用すること。
・125V 電圧が125ボルト以下の家電機器しか使用しないこと。
という意味です。

■ご家庭の電気設備の安全調査

当社が委託する九州電気保安協会及び各県の電気工事工業組合の調査員が、
お客さま宅を訪問し、電気設備の安全調査を行っています(4年に1回)。

安全調査では、漏電調査や分電盤のネジの緩みの点検のほか、震ブレーカー※
による電気火災対策をお知らせするなど、電気を安心してご使用いただけるよう
努めています。

※地震を感じると自動的に電気を止めるブレーカー



分電盤の点検

調査を装ってお客さま宅を訪問し調査料をだまし取るなど、「ニセ調査員による詐欺が発生しています。

当社が委託する安全調査では料金を請求することはありません。

少しでも不審に感じられたときは、身分証明書の提示を求めるとともに、お近くの九州電力までご連絡ください。



この他にどのような取り組みを行っているの？

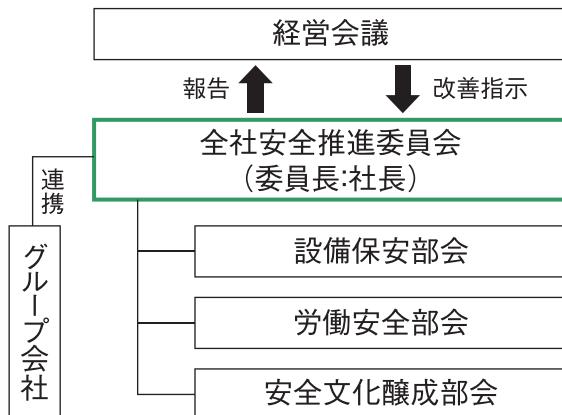
詳しくはウラ面へ

「全社安全推進委員会」を新たに設置し、 安全の取組みを徹底します

経営トップの強いリーダーシップのもと、地域の皆さまの安心と信頼確保につながる安全対策などを推進するため、「全社安全推進委員会」を2017年4月に設置。

この委員会のもと、社員一人ひとりが安全を最優先する意識を、これまで受け継がれてきた安定供給への使命感である「九電DNA」と同様に、組織に根付かせていきます。

[全社安全推進体制]



[主な取組み]

- ・当社グループ全体の安全方針の策定
- ・安全に関する地域の皆さまの声の集約・反映
- ・設備保安及び労働安全の計画、実施及び評価・改善
- ・安全文化の醸成（研修・安全大会等の実施）
- ・安全の取組み実績等の情報発信

災害に「気づき、学び、考える」そして 「やる気を喚起する」安全研修を行っています

グループ会社の（株）九電工では、グループ全社員が安全教育施設（「安全伝承館」）で、安全確保の重要性を学んでいます。

研修参加者は、施設における5つのステップでの学習や、危険体感訓練など、丸1日かけて安全研修を受けており、関連会社を含めた全社員に定期的な受講を義務付けています。（これまで延べ約1万人以上受講）



教育施設
「九電工アカデミー」
内に設置しています。

[5つのステップと主な学習内容]

STEP1 気づき～VTR放映～

- ・過去の災害を身近に感じる
- ・九電工グループの災害撲滅への取組み姿勢を理解する

STEP2 学ぶ～九電工社史をパネル展示～

- ・グループの安全に対する基本的な考え方を再認識する

STEP3 学ぶ～過去の災害を年表パネルで展示～

- ・主な災害事例とその反省にもとづいた作業基準や作業ルールの制定経緯、工具の改善改良などを知る

STEP4 考える～先人の声、家族からのメッセージ等～

- ・先人の体験談から、災害を自分事として捉え、災害が及ぼす影響の視点から今後の安全活動を考える

STEP5 やる気（決意）～講義～

- ・安全が企業活動の基本であることを再認識し、安全確保への「やる気」を喚起する

九州電力グループ一体となって 安全の取組みを推進します

安全統括グループは、「全社安全推進委員会」の事務局として、当社グループ全体の安全の取組みを推進しています。

これまで私たちは、国の基準や社内ルールなどにもとづき、さまざまな安全対策を実施してきました。これからも、地域の皆さんに安心感をもっていただけるよう、皆さまの声を安全対策に反映するなど、安全・安心を追求していきます。

また、継続的な教育・訓練による安全を最優先する風土・文化の醸成や積極的な情報発信なども、今まで以上に取り組んでいきます。



安全推進チームワークショップの様子

コーポレート戦略部門
安全統括グループ 課長

やまと のりふみ
山本 軌文
(左から3番目)